

NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2010年09月06日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

| | |
|------|--|
| | NUBIC管理番号: <input type="text" value="2009000018"/> 整理番号 <input type="text" value="11379"/> 担当者 <input type="text" value="井上 典之"/> |
| 表 題 | <input type="text" value="導電性ゴムによる歪み検出装置および方法"/> |
| 技術分野 | <input type="text" value="土木・建築"/> <input type="text" value="計測装置"/> |
| 適用製品 | <input type="text" value="三軸圧縮試験機、地すべり変位計(斜面)、遮水"/> |
| 目 的 | <input type="text" value="これまでの地盤工学・応用地質学を背景とした岩石・土の実験で歪みの測定はワイヤーストレインゲージが主に使われており、測定可能な歪み量も小さいことから、破壊後の大変形の歪みを捉えることは困難であった。大変形の歪みを測定することを目的として、導電性性ゴムによる歪み測定手法を開発を行った。"/> |
| 技術概要 | <input type="text" value="本発明は導電性ゴムが変形に伴い抵抗を変化させることを利用し、その抵抗の変化を電気信号により捉え、抵抗値の変化から歪み量を測定する技術である。ゴムの弾性領域が測定範囲となるため、数10%までの歪みが測定可能である。大変形の歪みを測定できることは、三軸圧縮試験の破壊後の変形の挙動などの室内実験でのセンサーとしての役割や、地すべり現場での地表面の移動距離を測定する変位計への応用が考えられる。また、面的な測定も可能であるため、シート状の導電性ゴムを地中に埋め、多点の計測を行うことで変形部分の特定が可能となる。"/> |

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

| | | | |
|---------------|----------------------|-------|----------------------|
| 面談希望日時 | <input type="text"/> | | |
| (ふりがな) 氏 名 | <input type="text"/> | | |
| 会社名 | <input type="text"/> | | |
| 所 属 | <input type="text"/> | 役職 | <input type="text"/> |
| 電話番号 | <input type="text"/> | FAX番号 | <input type="text"/> |
| E-mail | <input type="text"/> | | |
| 連絡事項 | <input type="text"/> | | |



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp